©2000－2008, ADVANTAGE Corporation, All Rights Reserved

CUBIC 個人特性分析

2008/11/28

営業企画部　営業企画部　[redacted]

1　どういう性格・パーソナリティか

こちらの値は何回受験しても変わりません

型	性格の側面	弱 ― 普通 ― 強	指数
思索型	内閉性 ： 社交意識が低い		38
	客観性 ： 思考的思慮深い		63
活動型	身体性 ： 機敏な・気軽な		74
	気分性 ： 感情のまま行動		42
努力型	持続性 ： 几帳面・忍耐力		53
	規則性 ： 常識的・順法的		36
積極型	競争性 ： 勝気な・積極的		48
	自尊心 ： 気ぐらいが高い		41
自制型	慎重性 ： 見通しをつける		50
	弱気さ ： 取越苦労・遠慮		33

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「思索・客観性」であるが、「努力・持続性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・身体性」及び「思索・客観性」の人のパーソナリティスケッチ
状況の変化を敏感にとらえることができ、その環境に適応する能力をそなえた行動派タイプといえる。考えるよりも、まずは身体を動かすことで物事を解決しようとしたり、反面、思索的客観的に検討してから判断する２面性を持っているといえる。情緒的にも安定しており、自分なりのリズムをもって生活をしている。手掛けた仕事を途中で放り出すような無責任さは少ない。発想も思い付きばかりではなく、理詰めで整実なところもあり、非常にユニークなアイデアを出すことがある。感覚的に判断するのではなく、客観的に物事を把握し行動している。また、社会への関心もあり世間に対する配慮もみられる。どちらかといえば、進んでたくさんの交友関係を形成するというより、気の許せる限られた友人との付き合いを大切にするところがある。常に自分を一歩外に置き、人情や感情に左右されない発言をすることがあるため、冷たいという印象を他人に与えてしまうことがあるが、実のところ自身を深く内省していて、豊かな内面性の持ち主といえる。

●もう一方の性格特性
精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもっている。暗い影のようなものがなく、明るい。

2　どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱 ― 普通 ― 強	指数	
日常周辺事型		47	
客観・科学型		40	雑知識が訪者し、一面的な角度から物事を見ようとする。
社会・経済型		30	世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
心理・情緒型		49	
審美・芸術型		74	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数

低 ― 高

回答の信頼性は高く、矛盾したところがはとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3　基礎的な職場場面での社会性

	診断項目	弱 ― 普通 ― 強	指数	
	積　極　性		64	率先して業務に取り組み、意見や考えを進んで提案する。
	協　調　性		70	仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。
	責　任　感		61	任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。
	自己信頼性		59	自信があるため、大きな目的をクリアーすることもある。
①	指　導　性		76	人に頼りにされ、皆をまとめるリーダー的な役割をする。
	共　感　性		67	皆の意見や考えを大切にし、協同作業などは熱心である。
②	感情安定性		65	比較的気持ちが安定していて、多少の事では動揺しない。
	従　順　性		46	
	自　主　性		51	
④	モラトリアム傾向		41	

リーダー・管理職傾向の方は

――― 線①、②、③の値が

高い傾向にあります。

4　どういうことに意欲・ヤル気をだすか

	意欲の側面	弱 ― 普通 ― 強	指数	
	達成　欲求		45	
	親和　欲求		54	仲間とは競争関係にならず、協力しあい穏やかでいたい。
	求知　欲求		54	新奇なことに挑戦したり、周囲の環境を変えていきたい。
③	顕示　欲求		68	環境の中で実力を発揮し、それを皆に認めてもらいたい。
	秩序　欲求		47	
	物質的欲望		68	モノを獲得し保持したいなど、資産的な事に関心がある。
	危機　耐性		68	全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。
	自律　欲求		59	人に頼ったりするより、精神的に独立し自力で生きたい。
	支配　欲求		76	上下関係をハッキリさせ、影響力ある関係を形成したい。
⑤	勤労　意欲		75	仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、
ついで「苦労を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。
逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡白な反応である。

――― 線④が60以上、⑤が40未満の場合、

3ヶ月以内に退職してしまう可能性が高いので、

モチベーションを上げるなど工夫が必要です。